

VI プロスポーツキャンプ等調査

1. 調査の概要

1-1 はじめに

本調査は、平成 27 年秋季から平成 28 年春季にかけて、県内各所で行われたプロスポーツチームのキャンプ、プレシーズンマッチ等、プロゴルフのツアートーナメントに訪れた観戦客の動向を調査し、その結果を集計、分析することを目的としている。

調査精度の均一化を図るため、調査員（2～4名）による対面聞き取り方式でアンケート調査を実施。あわせて1グループにつき、調査対象者を1名（1回答）とするよう徹底している。

1-2 調査スケジュール

季節	スポーツ種別	調査区分	調査日	サンプル数
秋 季	サッカー	プレナスなでしこリーグ	7/26	100
	野球	阪神タイガース秋季キャンプ	11/15	100
	野球	オリックスバファローズ秋季キャンプ	11/15	100
	男子ゴルフ	カシオワールドオープン	11/28	100
春 季	サッカー	アルビレックス新潟春季キャンプ	1/23・24・30・31	100
	サッカー	徳島ヴォルティス春季キャンプ	1/23・24・30	55
	野球	埼玉西武ライオンズ春季キャンプ	2/7	100
	野球	阪神タイガース春季キャンプ	2/7	100
	女子ゴルフ	ヨコハマタイヤPRGRレディース	3/12	100
				855

1-3 調査結果の見方

(1) 図表に記入している構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は構成比を合計すると100%以上になる。

(2) 図表中、及び本文中の調査区分は以下の通り、簡素化して表記している場合がある。

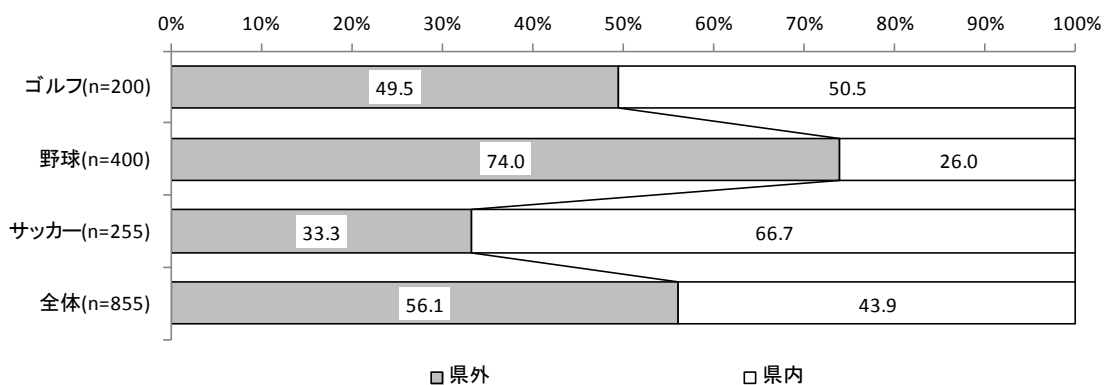
① プレナスなでしこリーグ	: なでしこリーグ
② 阪神タイガース秋季キャンプ	: タイガース秋季
③ オリックスバファローズ秋季キャンプ	: オリックス秋季
④ カシオワールドオープン	: カシオ
⑤ アルビレックス新潟春季キャンプ	: アルビレックス
⑥ 徳島ヴォルティス春季キャンプ	: ヴォルティス
⑦ 埼玉西武ライオンズ春季キャンプ	: ライオンズ春季
⑧ 阪神タイガース春季キャンプ	: タイガース春季
⑨ ヨコハマタイヤPRGRレディス	: ヨコハマタイヤ

(3) 集計の調査対象者は県内旅行者を含んでいるが、集計項目により特定の調査対象者だけを集計している場合がある。この場合は、図表名に除外した調査対象者を記載している。

1-4 アンケート結果の特徴

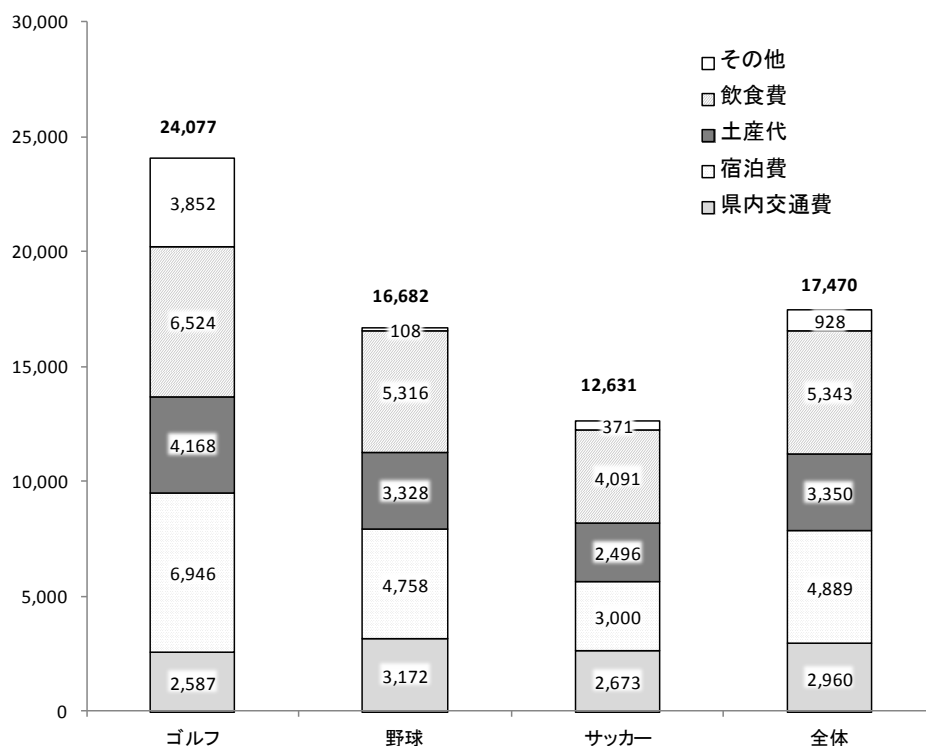
● スポーツ種別でみた県外客割合と県内消費額

(参考1) スポーツ種別県外客・県内客割合 (%)



県外客・県内客の割合をみると、野球は県外客が7割以上となっており、サッカーとゴルフは県内客が半数以上を占めている（参考1）。

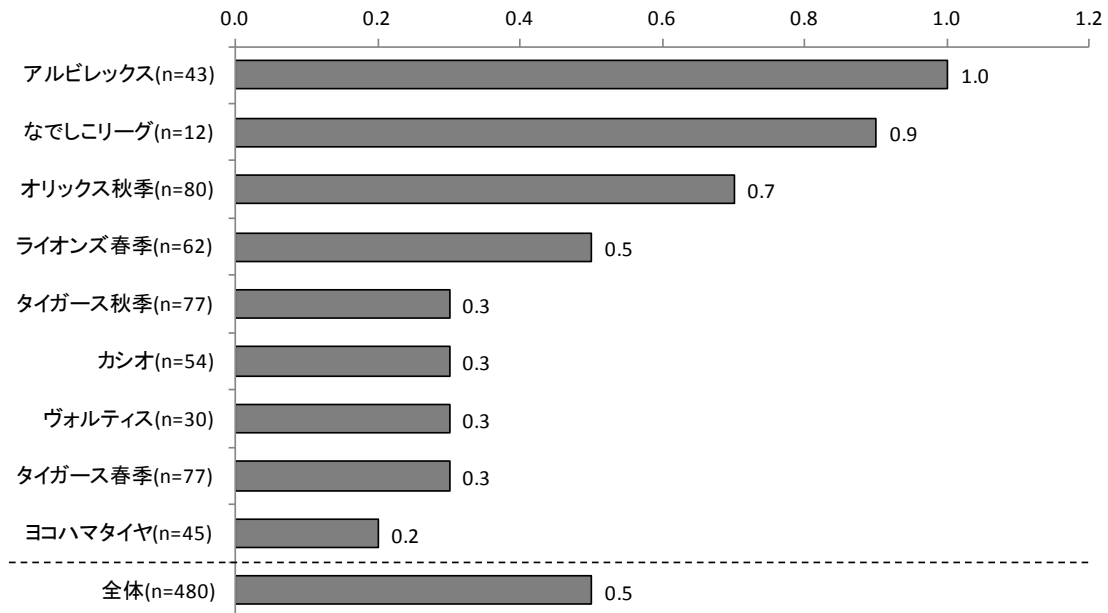
(参考2) 県内平均消費額 (円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く



県内平均消費額をスポーツ種別にみると、ゴルフが24,077円で最も高く、次いで野球が16,682円、サッカーが12,631円となっている（参考2）。

● 立寄観光スポット平均件数

(参考3) 立寄観光スポット平均件数 (件) ※県内客を除く



県外客の立寄観光スポット平均件数は 0.5 件となっている。調査区分別にみると、アルビレックスが 1.0 件で最も多くなっており、ヨコハマタイヤが 0.2 件で最も少なくなっている (参考3)。

● 主な意見・感想

観光客からの意見には、土産品やキャンプ球団のグッズなど「物販」に関することや、キャンプ地周辺での「飲食店」に関する声が多く寄せられた。

- 周辺で高知県や安芸の特産品が買えるような店があると良い。ゆずジャムやまんじゅうは売店にあったが、もっと買いたくなるものを置いてほしい。

(タイガース秋季・兵庫県・50代男性)

- 販売しているグッズが少ない。ウェアや小物など手に取りやすい商品を置いてほしい。

(ヨコハマタイヤ・高知市・60代女性)

と、会場周辺で購入したいという要望が寄せられている。

また、「飲食店」に関しては、以下のような意見があった。

- 安芸球場の近くで、おいしいご飯を食べられるところがあれば良いと思う。

(タイガース秋季・大阪府・30代男性)

- キャンプ以外での楽しみはやはり食事なので毎年決まった飲食店に行く。

(アルビレックス・新潟県・50代女性)

と、特に県外から訪れた観戦客から「飲食店」の情報を得たいという要望があった。

これら両方とも消費額の増加につながるため、上記のようなニーズにどのように応えるか、関係者各位の取り組みが期待される。

以上、アンケート結果の主な傾向と、寄せられた意見・感想をあげた。

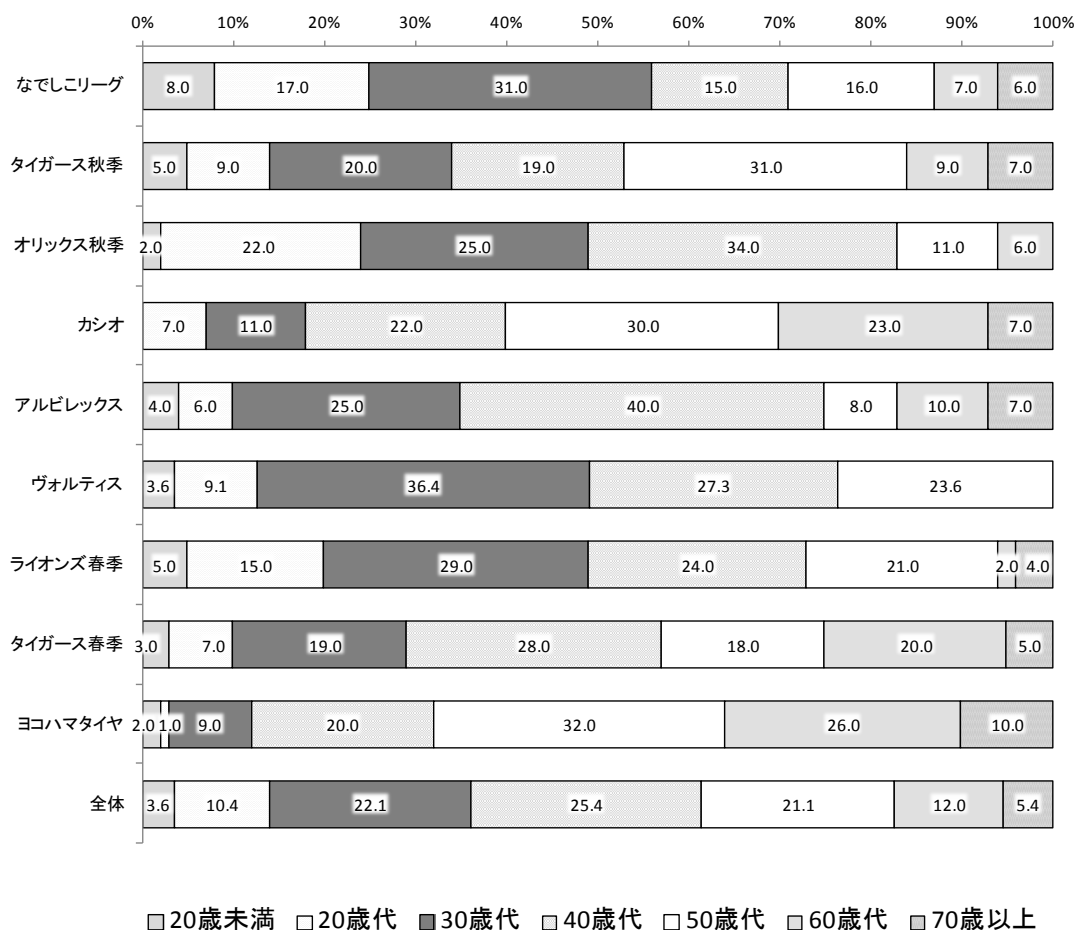
2. 年代

2-1 年代割合

(表 2-1) 観戦者年代割合 (上段：件 下段：%)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
なでしこリーグ	8	17	31	15	16	7	6	100
	8.0	17.0	31.0	15.0	16.0	7.0	6.0	100.0
タイガース秋季	5	9	20	19	31	9	7	100
	5.0	9.0	20.0	19.0	31.0	9.0	7.0	100.0
オリックス秋季	2	22	25	34	11	6	0	100
	2.0	22.0	25.0	34.0	11.0	6.0	0.0	100.0
カシオ	0	7	11	22	30	23	7	100
	0.0	7.0	11.0	22.0	30.0	23.0	7.0	100.0
アルビレックス	4	6	25	40	8	10	7	100
	4.0	6.0	25.0	40.0	8.0	10.0	7.0	100.0
ヴォルティス	2	5	20	15	13	0	0	55
	3.6	9.1	36.4	27.3	23.6	0.0	0.0	100.0
ライオンズ春季	5	15	29	24	21	2	4	100
	5.0	15.0	29.0	24.0	21.0	2.0	4.0	100.0
タイガース春季	3	7	19	28	18	20	5	100
	3.0	7.0	19.0	28.0	18.0	20.0	5.0	100.0
ヨコハマタイヤ	2	1	9	20	32	26	10	100
	2.0	1.0	9.0	20.0	32.0	26.0	10.0	100.0
全体	31	89	189	217	180	103	46	855
	3.6	10.4	22.1	25.4	21.1	12.0	5.4	100.0

(図 2-2) 観戦者年代割合(%)



全体の年代をみると、「40歳代」の割合が25.4%で最も高くなっており、次いで「30歳代」が22.1%、「50歳代」が21.1%、「60歳代」が12.0%となっている。

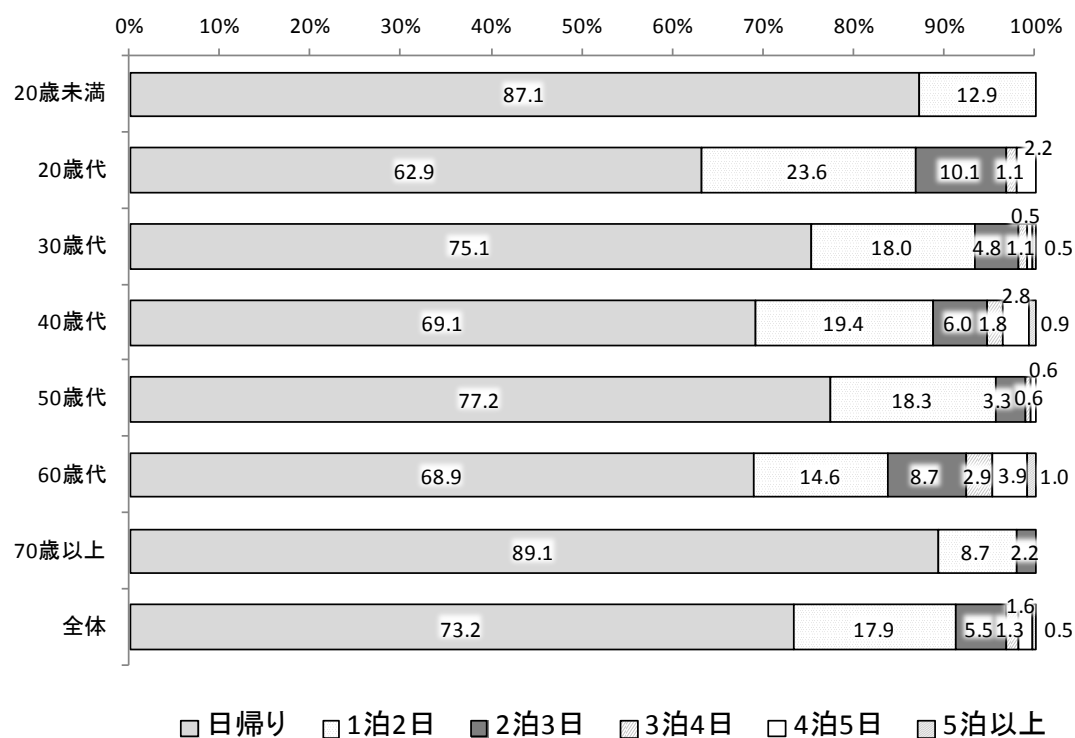
調査区分ごとにみると、ゴルフで40歳以上の年代が目立って多くなっており、ヨコハマタイヤで88.0%、カシオで82.0%となっている。また、なでしこリーグ、ヴォルティス、オリックス秋季、ライオンズ春季は30歳以下の年代が多くなっている。

2-2 年代別旅行日数

(表 2-3)年代別旅行日数割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
20歳未満	27	4	0	0	0	0	31
	87.1	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	56	21	9	1	2	0	89
	62.9	23.6	10.1	1.1	2.2	0.0	100.0
30歳代	142	34	9	2	1	1	189
	75.1	18.0	4.8	1.1	0.5	0.5	100.0
40歳代	150	42	13	4	6	2	217
	69.1	19.4	6.0	1.8	2.8	0.9	100.0
50歳代	139	33	6	1	1	0	180
	77.2	18.3	3.3	0.6	0.6	0.0	100.0
60歳代	71	15	9	3	4	1	103
	68.9	14.6	8.7	2.9	3.9	1.0	100.0
70歳以上	41	4	1	0	0	0	46
	89.1	8.7	2.2	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	626	153	47	11	14	4	855
	73.2	17.9	5.5	1.3	1.6	0.5	100.0

(図 2-4) 年代別旅行日数割合 (%)



全体の旅行日数は、「日帰り」の割合が 73.2%で最も高くなっており、次いで「1泊2日」が 17.9%、「2泊3日」が 5.5%となっている。

年代別にみると、20歳未満、70歳以上で「日帰り」の割合が 80%を超え、他の年代に比べて宿泊の割合が低くなっている。

2-3 年代別旅行形態割合

(表 2-5) 年代別旅行形態割合 (上段：件 下段：%)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
20歳未満	5	1	8	10	5	0	0	0	2	31
	16.1	3.2	25.8	32.3	16.1	0.0	0.0	0.0	6.5	100.0
20歳代	18	6	10	12	42	1	0	0	0	89
	20.2	6.7	11.2	13.5	47.2	1.1	0.0	0.0	0.0	100.0
30歳代	37	20	61	14	46	7	1	1	2	189
	19.6	10.6	32.3	7.4	24.3	3.7	0.5	0.5	1.1	100.0
40歳代	55	34	57	15	47	2	1	0	6	217
	25.3	15.7	26.3	6.9	21.7	0.9	0.5	0.0	2.8	100.0
50歳代	34	68	26	15	35	1	0	0	1	180
	18.9	37.8	14.4	8.3	19.4	0.6	0.0	0.0	0.6	100.0
60歳代	27	39	4	12	20	0	1	0	0	103
	26.2	37.9	3.9	11.7	19.4	0.0	1.0	0.0	0.0	100.0
70歳以上	15	13	4	5	9	0	0	0	0	46
	32.6	28.3	8.7	10.9	19.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	191	181	170	83	204	11	3	1	11	855
	22.3	21.2	19.9	9.7	23.9	1.3	0.4	0.1	1.3	100.0

全体の旅行形態割合は、「友人・知人」の割合が23.9%で最も高くなっており、次いで「1人」が22.3%、「夫婦」が21.2%、「子供連れ家族」が19.9%となっている。

年代別にみると、20歳未満は「その他家族」や「子供連れ家族」、20歳代は「友人・知人」や「1人」、30歳代は「子供連れ家族」や「友人・知人」、40歳代は「子供連れ家族」や「1人」、50歳代は「夫婦」や「友人・知人」、60歳代と70歳以上は「夫婦」や「1人」が多くなっている。

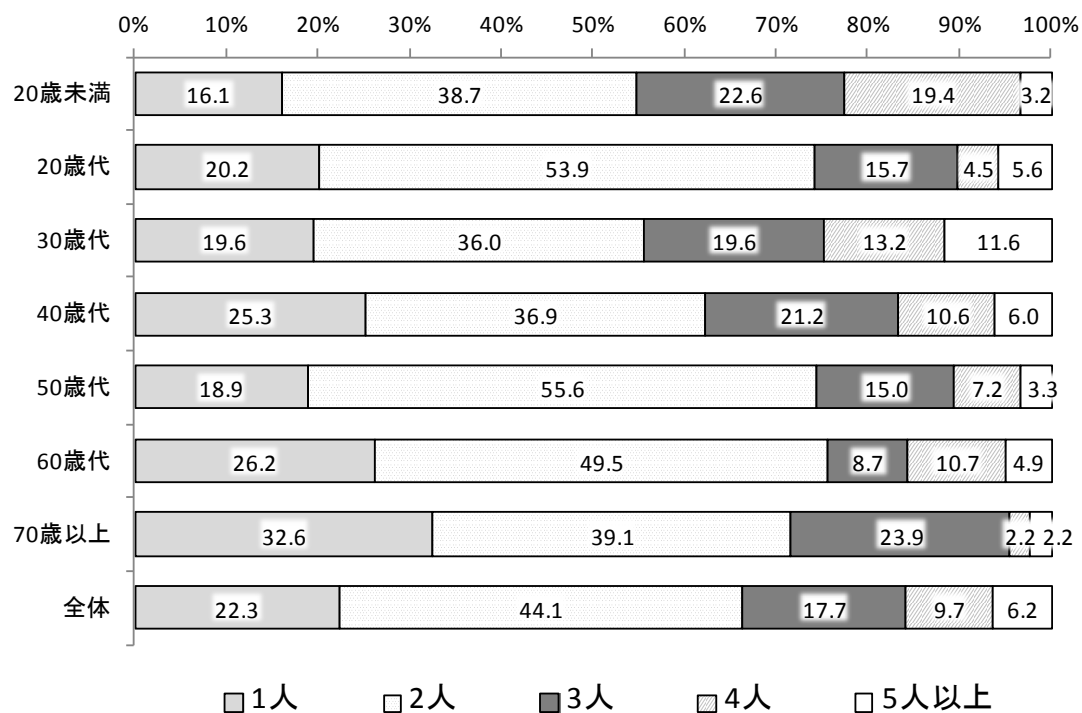
旅行形態別にみると、「1人」は70歳以上で最も多く、「夫婦」は50歳代から60歳代で、「友人・知人」は20歳代で、「子供連れ家族」は30歳代で多くなっている。

2-4 年代別同行者数割合

(表 2-6) 年代別同行者数割合 (上段：件 下段：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	合計	平均人数
20歳未満	5	12	7	6	1	31	2.6
	16.1	38.7	22.6	19.4	3.2	100.0	
20歳代	18	48	14	4	5	89	2.3
	20.2	53.9	15.7	4.5	5.6	100.0	
30歳代	37	68	37	25	22	189	3.2
	19.6	36.0	19.6	13.2	11.6	100.0	
40歳代	55	80	46	23	13	217	2.6
	25.3	36.9	21.2	10.6	6.0	100.0	
50歳代	34	100	27	13	6	180	2.2
	18.9	55.6	15.0	7.2	3.3	100.0	
60歳代	27	51	9	11	5	103	2.3
	26.2	49.5	8.7	10.7	4.9	100.0	
70歳以上	15	18	11	1	1	46	2.0
	32.6	39.1	23.9	2.2	2.2	100.0	
全体	191	377	151	83	53	855	2.5
	22.3	44.1	17.7	9.7	6.2	100.0	

(図 2-7) 年代別同行者数割合 (%)



全体の同行者数をみると、「2人」の割合が44.1%で最も高くなっており、次いで、「1人」が22.3%、「3人」が17.7%、「4人」が9.7%、「5人以上」が6.2%となっている。

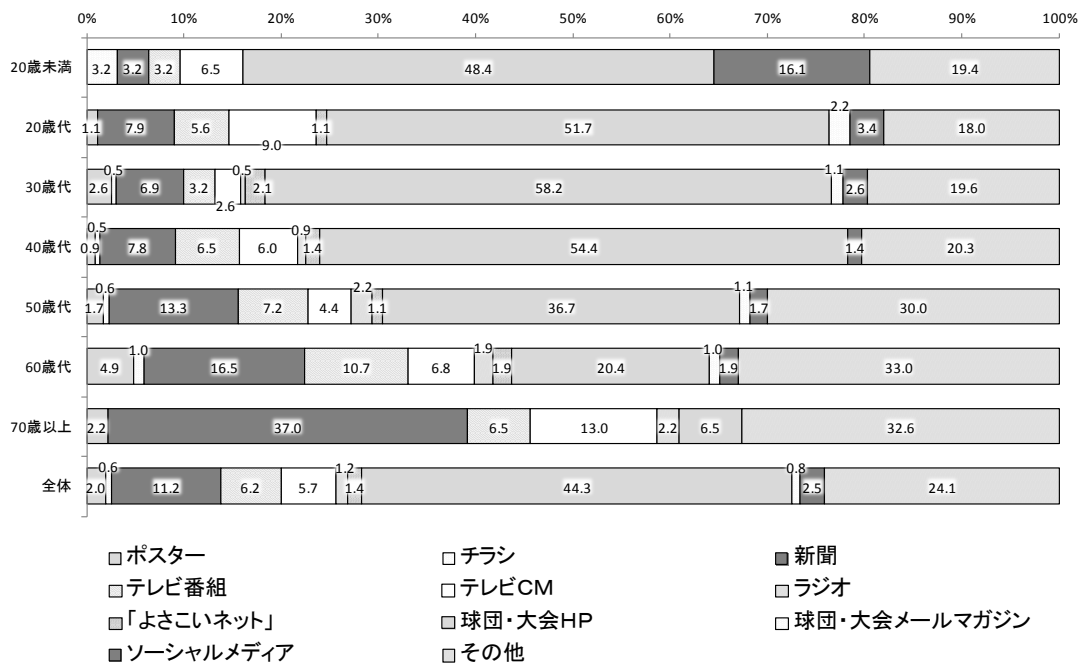
年代別にみると、全ての年代で「2人」の割合が最も高くなっており、次いで、20歳未満が「3人」、30歳代が「1人」と「3人」、その他の年代で「1人」が多くなっている。

2-5 年代別情報源割合

(表 2-8) 年代別情報源割合 (上段：件 下段：%)

	ポスター	チラシ	新聞	テレビ番組	テレビCM	ラジオ	よさこい ネット	球団・ 大会HP	球団・大会 メール マガジン	ソーシャル メディア (Twitter、 Facebook)	その他	合計
20歳未満	0	1	1	1	2	0	0	15	0	5	6	31
	0.0	3.2	3.2	3.2	6.5	0.0	0.0	48.4	0.0	16.1	19.4	100.0
20歳代	1	0	7	5	8	0	1	46	2	3	16	89
	1.1	0.0	7.9	5.6	9.0	0.0	1.1	51.7	2.2	3.4	18.0	100.0
30歳代	5	1	13	6	5	1	4	110	2	5	37	189
	2.6	0.5	6.9	3.2	2.6	0.5	2.1	58.2	1.1	2.6	19.6	100.0
40歳代	2	1	17	14	13	2	3	118	0	3	44	217
	0.9	0.5	7.8	6.5	6.0	0.9	1.4	54.4	0.0	1.4	20.3	100.0
50歳代	3	1	24	13	8	4	2	66	2	3	54	180
	1.7	0.6	13.3	7.2	4.4	2.2	1.1	36.7	1.1	1.7	30.0	100.0
60歳代	5	1	17	11	7	2	2	21	1	2	34	103
	4.9	1.0	16.5	10.7	6.8	1.9	1.9	20.4	1.0	1.9	33.0	100.0
70歳以上	1	0	17	3	6	1	0	3	0	0	15	46
	2.2	0.0	37.0	6.5	13.0	2.2	0.0	6.5	0.0	0.0	32.6	100.0
全体	17	5	96	53	49	10	12	379	7	21	206	855
	2.0	0.6	11.2	6.2	5.7	1.2	1.4	44.3	0.8	2.5	24.1	100.0

(図 2-9) 年代別情報源割合 (%)



全体の情報源を見ると、「球団・大会HP」の割合が44.3%と最も高くなっており、次いで「その他」が24.1%、「新聞」が11.2%となっている。

年代別にみると、20歳未満から50歳代は「球団・大会HP」が占める割合が最も高くなっており、次いで「その他」が多くなっている。60歳代は「その他」が最も高くなっており、次いで「球団・大会HP」、「新聞」が多くなっている。70歳以上は「新聞」が最も高くなっており、次いで「その他」、「テレビCM」が多くなっている。

また、「よさこいネット」、「球団・大会HP」、「球団・大会メールマガジン」、「ソーシャルメディア (Twitter、Facebook)」を合わせた割合は、20歳未満で64.5%、30歳代で64.0%、20歳代で58.4%、40歳代で57.2%と若い年代でインターネットの利用が多くなっている。

その他の情報源としてあげられた回答としては、「毎年恒例の事なので知っている」、「家族や友人から誘われた」、「他の用件で訪れて偶然知った」などが多かった。

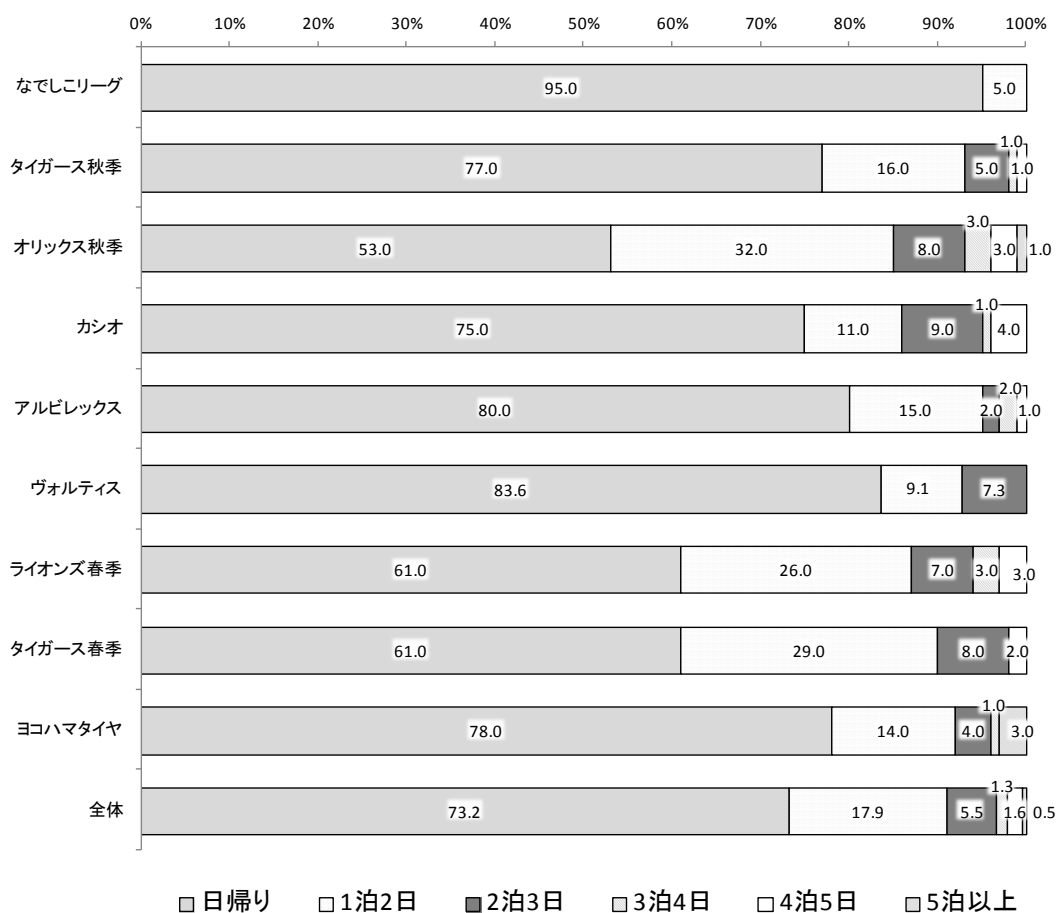
3. 日帰り客と宿泊客

3-1 日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-1) 日帰り客と宿泊客の割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
なでしこリーグ	95	5	0	0	0	0	100
	95.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース秋季	77	16	5	1	1	0	100
	77.0	16.0	5.0	1.0	1.0	0.0	100.0
オリックス秋季	53	32	8	3	3	1	100
	53.0	32.0	8.0	3.0	3.0	1.0	100.0
カシオ	75	11	9	1	4	0	100
	75.0	11.0	9.0	1.0	4.0	0.0	100.0
アルビレックス	80	15	2	2	1	0	100
	80.0	15.0	2.0	2.0	1.0	0.0	100.0
ヴォルティス	46	5	4	0	0	0	55
	83.6	9.1	7.3	0.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ春季	61	26	7	3	3	0	100
	61.0	26.0	7.0	3.0	3.0	0.0	100.0
タイガース春季	61	29	8	0	2	0	100
	61.0	29.0	8.0	0.0	2.0	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	78	14	4	1	0	3	100
	78.0	14.0	4.0	1.0	0.0	3.0	100.0
全体	626	153	47	11	14	4	855
	73.2	17.9	5.5	1.3	1.6	0.5	100.0

(図 3-2) 日帰り客と宿泊客の割合 (%)



全体の日帰り客と宿泊客を見ると、日帰り客の割合が 73.2%、宿泊客が 26.8%となっている。

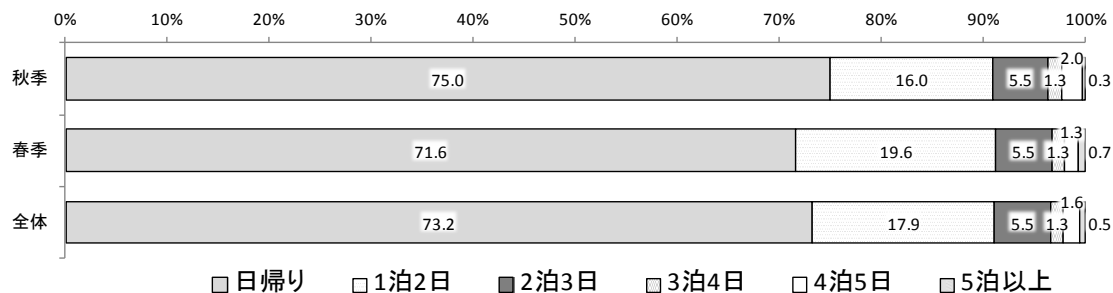
調査区分別にみると、宿泊客の割合は、オリックス秋季が 47.0%で最も高くなっており、なでしこリーグが 5.0%で最も低くなっている。なお、2泊3日以上の割合は、オリックス秋季 15.0%、カシオ 14.0%、ライオンズ春季 13.0%の順となっている。

3-2 季節別日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-3) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
秋季	300	64	22	5	8	1	400
	75.0	16.0	5.5	1.3	2.0	0.3	100.0
春季	326	89	25	6	6	3	455
	71.6	19.6	5.5	1.3	1.3	0.7	100.0
全体	626	153	47	11	14	4	855
	73.2	17.9	5.5	1.3	1.6	0.5	100.0

(図 3-4) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (%)



季節別に日帰り客と宿泊客の割合をみると、秋季は日帰り客が75.0%、宿泊客が25.0%、春季は日帰り客が71.6%、宿泊客が28.4%で春季の宿泊客の割合が高くなっている。

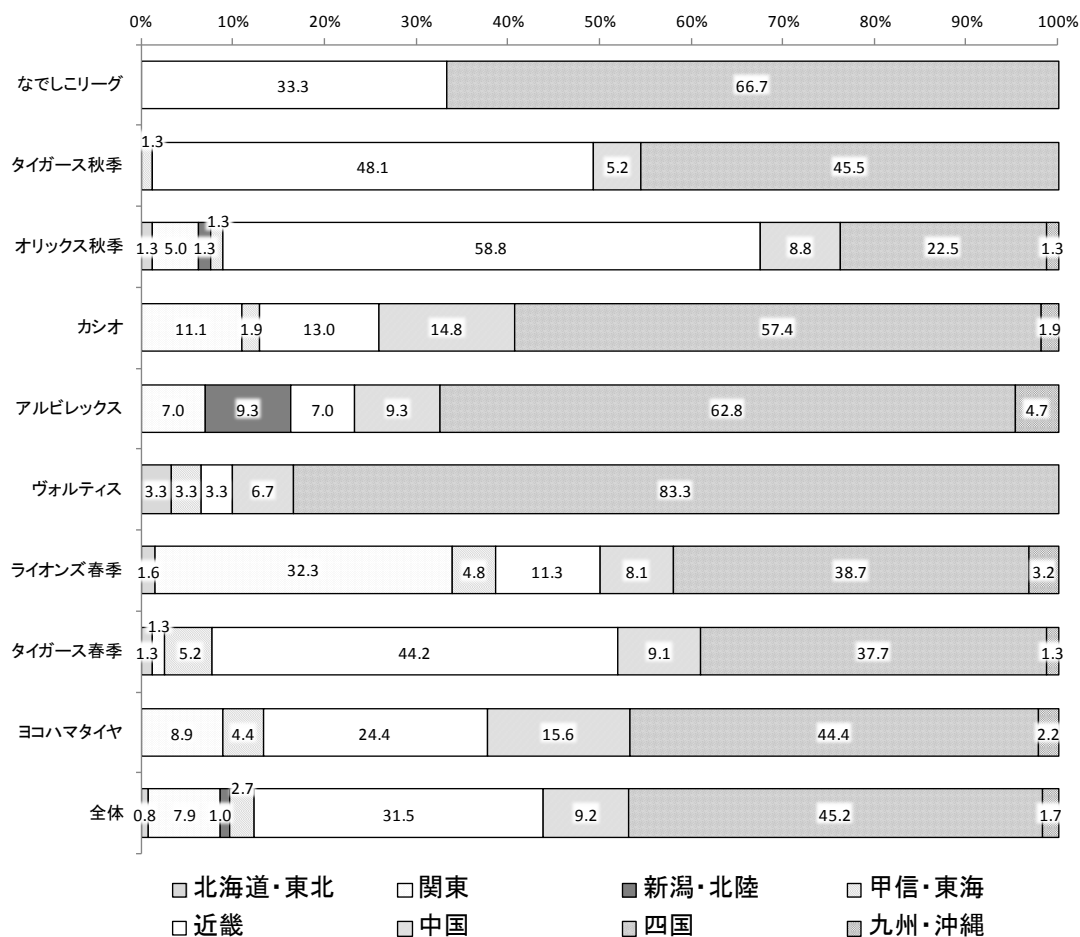
4. 出発地

4-1 出発地ブロック割合

(表 4-1) 出発地ブロック割合 (上段: 件 下段: %) ※県内客を除く

	北海道・東北	関東	新潟・北陸	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外	合計
なでしこリーグ	0	0	0	0	4	0	8	0	0	12
	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	100.0
タイガース秋季	0	0	0	1	37	4	35	0	0	77
	0.0	0.0	0.0	1.3	48.1	5.2	45.5	0.0	0.0	100.0
オリックス秋季	1	4	1	1	47	7	18	1	0	80
	1.3	5.0	1.3	1.3	58.8	8.8	22.5	1.3	0.0	100.0
カシオ	0	6	0	1	7	8	31	1	0	54
	0.0	11.1	0.0	1.9	13.0	14.8	57.4	1.9	0.0	100.0
アルビレックス	0	3	4	0	3	4	27	2	0	43
	0.0	7.0	9.3	0.0	7.0	9.3	62.8	4.7	0.0	100.0
ヴォルティス	1	0	0	1	1	2	25	0	0	30
	3.3	0.0	0.0	3.3	3.3	6.7	83.3	0.0	0.0	100.0
ライオンズ春季	1	20	0	3	7	5	24	2	0	62
	1.6	32.3	0.0	4.8	11.3	8.1	38.7	3.2	0.0	100.0
タイガース春季	1	1	0	4	34	7	29	1	0	77
	1.3	1.3	0.0	5.2	44.2	9.1	37.7	1.3	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	0	4	0	2	11	7	20	1	0	45
	0.0	8.9	0.0	4.4	24.4	15.6	44.4	2.2	0.0	100.0
全体	4	38	5	13	151	44	217	8	0	480
	0.8	7.9	1.0	2.7	31.5	9.2	45.2	1.7	0.0	100.0

(図 4-2) 出発地ブロック割合 ※県内容・海外客を除く



県内容を除いた全体の発地ブロック割合は、四国が 45.2%で最も高くなっており、次いで近畿が 31.5%、中国が 9.2%となっている。

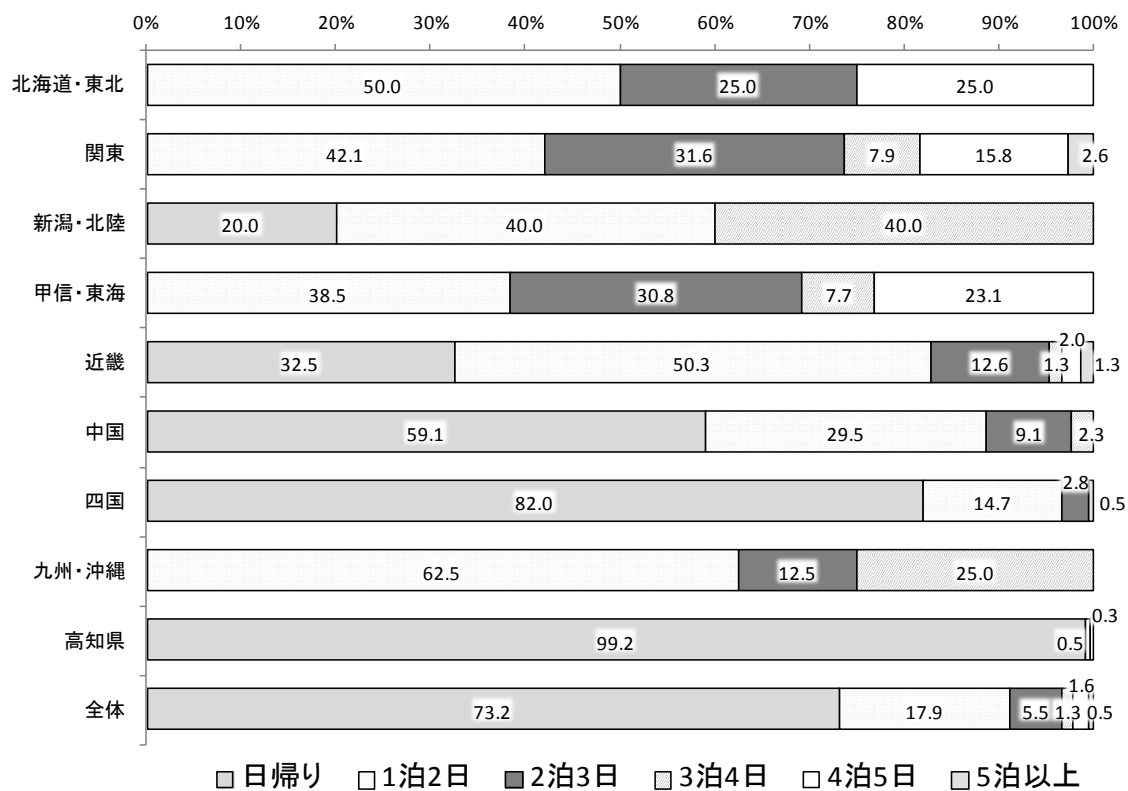
出発地別の主な傾向を見ると、四国の割合は、ヴォルティスが 83.3%で最も高くなっており、次いでなでしこリーグが 66.7%、アルビレックスが 62.8%となっている。近畿はオリックス秋季が 58.8%で最も高くなっており、次いでタイガース秋季が 48.1%、タイガース春季が 44.2%となっている。中国はヨコハマタイヤが 15.6%で最も高くなっており、次いでカシオが 14.8%、アルビレックスが 9.3%となっている。

4-2 出発地ブロック別県内旅行日数割合

(表 4-3) 出発地ブロック別県内旅行日数割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
北海道・東北	0	2	1	0	1	0	4
	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	100.0
関東	0	16	12	3	6	1	38
	0.0	42.1	31.6	7.9	15.8	2.6	100.0
新潟・北陸	1	2	0	2	0	0	5
	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	100.0
甲信・東海	0	5	4	1	3	0	13
	0.0	38.5	30.8	7.7	23.1	0.0	100.0
近畿	49	76	19	2	3	2	151
	32.5	50.3	12.6	1.3	2.0	1.3	100.0
中国	26	13	4	1	0	0	44
	59.1	29.5	9.1	2.3	0.0	0.0	100.0
四国	178	32	6	0	0	1	217
	82.0	14.7	2.8	0.0	0.0	0.5	100.0
九州・沖縄	0	5	1	2	0	0	8
	0.0	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0	100.0
高知県	372	2	0	0	1	0	375
	99.2	0.5	0.0	0.0	0.3	0.0	100.0
全体	626	153	47	11	14	4	855
	73.2	17.9	5.5	1.3	1.6	0.5	100.0

(図 4-4) 出発地ブロック和歌県内旅行日数割合 (%)



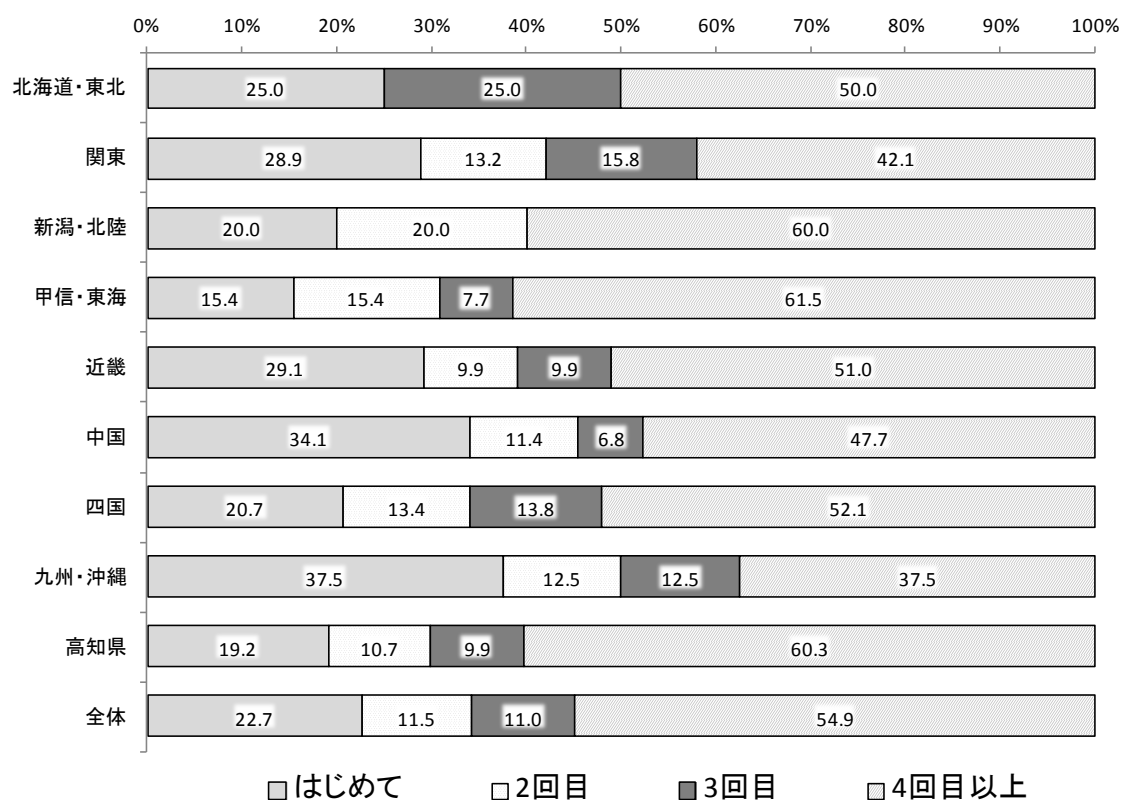
入込割合の多い発地ブロック別 (P112 表 4-1) に県内旅行日数を見ると、四国は「日帰り」の割合が 82.0%で最も高くなっており、次いで「1泊2日」が 14.7%、「2泊3日」が 2.8%となっている。近畿は「1泊2日」が 50.3%で最も高くなっており、次いで「日帰り」が 32.5%、「2泊3日」が 12.6%となっている。中国は「日帰り」が 59.1%で最も高くなっており、次いで「1泊2日」が 29.5%、「2泊3日」が 9.1%となっている。

4-3 出発地ブロック別観戦回数割合

(表 4-5) 出発地ブロック別観戦回数割合 (上段：件 下段：%)

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	合計
北海道・東北	1	0	1	2	4
	25.0	0.0	25.0	50.0	100.0
関東	11	5	6	16	38
	28.9	13.2	15.8	42.1	100.0
新潟・北陸	1	1	0	3	5
	20.0	20.0	0.0	60.0	100.0
甲信・東海	2	2	1	8	13
	15.4	15.4	7.7	61.5	100.0
近畿	44	15	15	77	151
	29.1	9.9	9.9	51.0	100.0
中国	15	5	3	21	44
	34.1	11.4	6.8	47.7	100.0
四国	45	29	30	113	217
	20.7	13.4	13.8	52.1	100.0
九州・沖縄	3	1	1	3	8
	37.5	12.5	12.5	37.5	100.0
高知県	72	40	37	226	375
	19.2	10.7	9.9	60.3	100.0
全体	194	98	94	469	855
	22.7	11.5	11.0	54.9	100.0

(図 4-6) 出発地ブロック別観戦回数割合 (%)



全体の観戦回数をみると、「4回目以上」の割合が54.9%で半数を超えており、次いで「はじめて」が22.7%、「2回目」が11.5%、「3回目」が11.0%となっている。

入込割合の多い発地ブロック別 (P112 表 4-1) に観戦回数をみると、四国は「4回目以上」の割合が52.1%で最も高くなっており、次いで「はじめて」が20.7%、「3回目」が13.8%となっている。近畿は「4回目以上」が51.0%で最も高くなっており、次いで「はじめて」が29.1%、「2回目」と「3回目」が共に9.9%となっている。中国は「4回以上」が47.7%で最も多くなっており、次いで「はじめて」が34.1%、「2回目」が11.4%となっている。

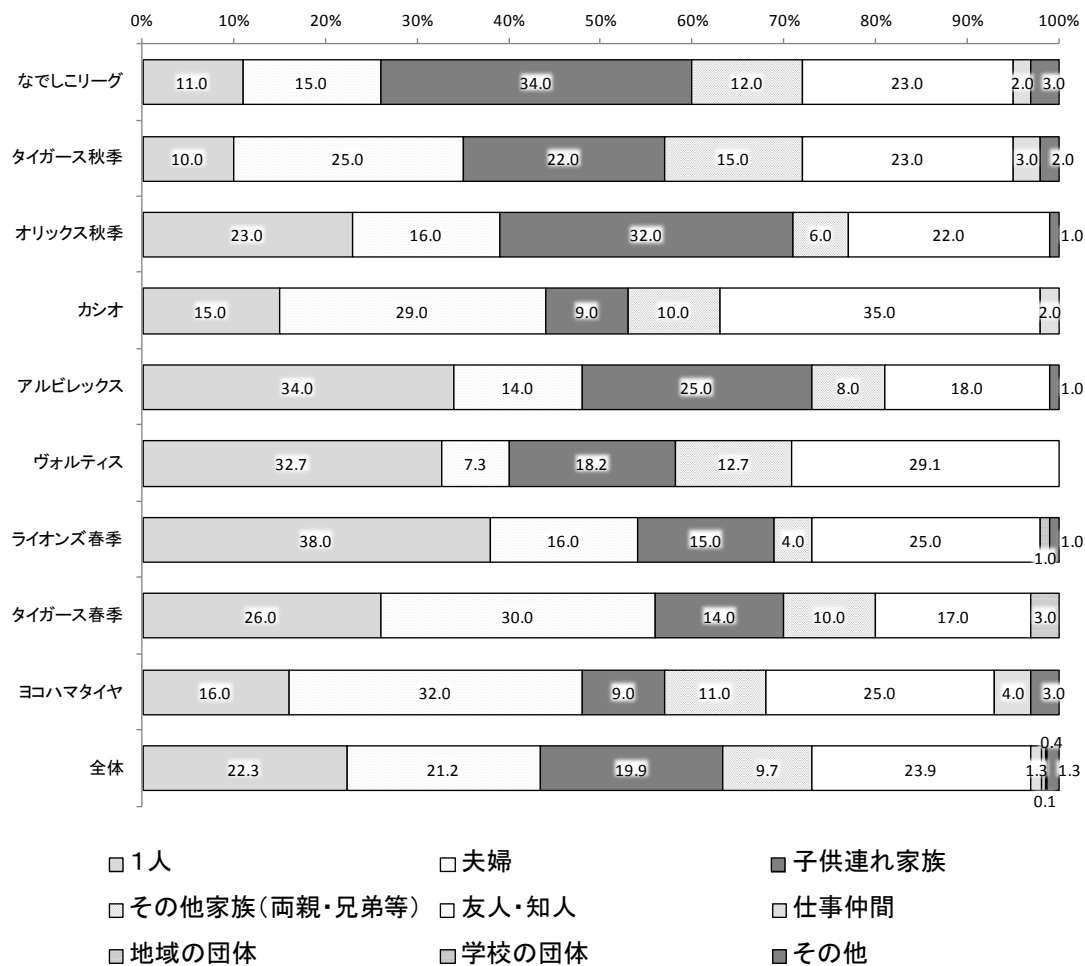
5. 旅行形態

5-1 旅行形態割合

(表 5-1)旅行形態割合 (上段：件 下段：%)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
なでしこリーグ	11	15	34	12	23	2	0	0	3	100
	11.0	15.0	34.0	12.0	23.0	2.0	0.0	0.0	3.0	100.0
タイガース秋季	10	25	22	15	23	3	0	0	2	100
	10.0	25.0	22.0	15.0	23.0	3.0	0.0	0.0	2.0	100.0
オリックス秋季	23	16	32	6	22	0	0	0	1	100
	23.0	16.0	32.0	6.0	22.0	0.0	0.0	0.0	1.0	100.0
カンオ	15	29	9	10	35	2	0	0	0	100
	15.0	29.0	9.0	10.0	35.0	2.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	34	14	25	8	18	0	0	0	1	100
	34.0	14.0	25.0	8.0	18.0	0.0	0.0	0.0	1.0	100.0
ヴォルティス	18	4	10	7	16	0	0	0	0	55
	32.7	7.3	18.2	12.7	29.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ春季	38	16	15	4	25	0	0	1	1	100
	38.0	16.0	15.0	4.0	25.0	0.0	0.0	1.0	1.0	100.0
タイガース春季	26	30	14	10	17	0	3	0	0	100
	26.0	30.0	14.0	10.0	17.0	0.0	3.0	0.0	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	16	32	9	11	25	4	0	0	3	100
	16.0	32.0	9.0	11.0	25.0	4.0	0.0	0.0	3.0	100.0
全体	191	181	170	83	204	11	3	1	11	855
	22.3	21.2	19.9	9.7	23.9	1.3	0.4	0.1	1.3	100.0

(図 5-2)旅行形態割合 (%)



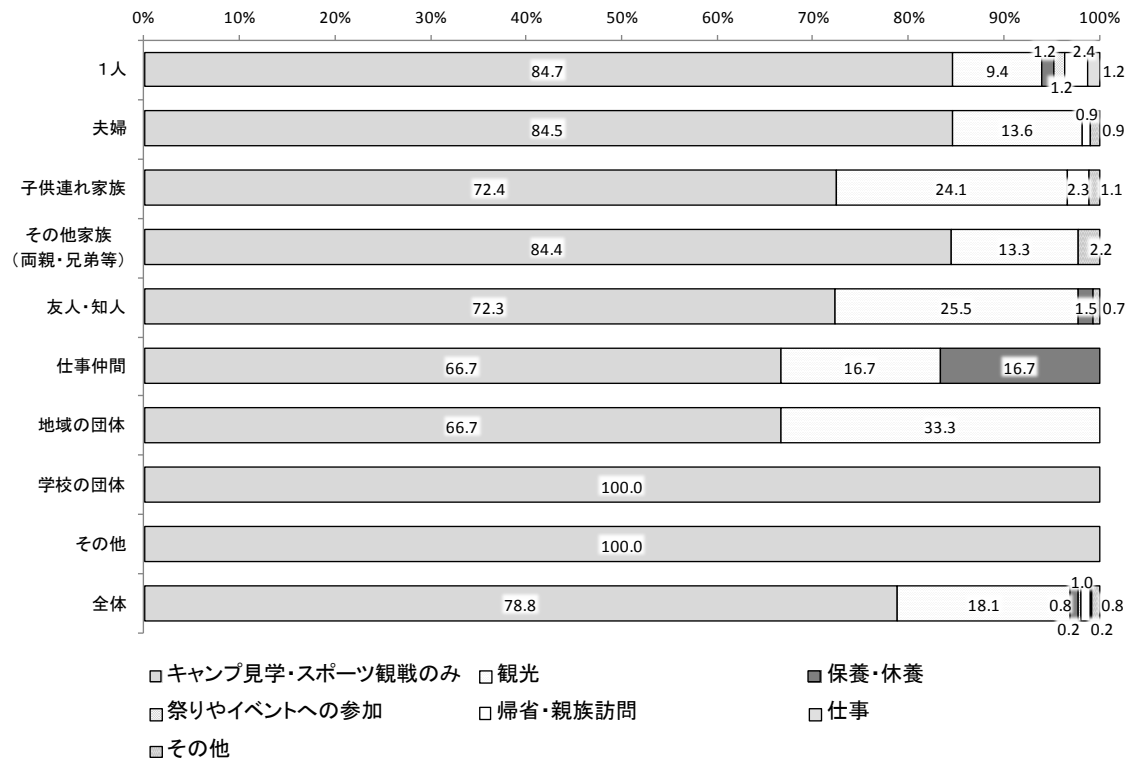
旅行形態の項目ごとに最も割合が高くなった調査区分をみると、「1人」はライオンズ春季、「夫婦」はヨコハマタイヤ、「子供連れ家族」はなでしこリーグ、「その他家族」はタイガース秋季、「友人・知人」はカシオとなっている。

5-2 旅行形態別来県目的割合

(表 5-3)旅行形態別来県目的割合（上段：件 下段：％） ※県内客を除く

	スポーツ 観戦のみ	観光	保養・休養	祭りや イベント	帰省・ 親族訪問	仕事	その他	合計
1人	72	8	1	1	2	1	0	85
	84.7	9.4	1.2	1.2	2.4	1.2	0.0	100.0
夫婦	93	15	0	0	1	0	1	110
	84.5	13.6	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	100.0
子供連れ家族	63	21	0	0	2	0	1	87
	72.4	24.1	0.0	0.0	2.3	0.0	1.1	100.0
その他家族	38	6	0	0	0	0	1	45
	84.4	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	100.0
友人・知人	99	35	2	0	0	0	1	137
	72.3	25.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.7	100.0
仕事仲間	4	1	1	0	0	0	0	6
	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
地域の団体	2	1	0	0	0	0	0	3
	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学校の団体	1	0	0	0	0	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	6	0	0	0	0	0	0	6
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	378	87	4	1	5	1	4	480
	78.8	18.1	0.8	0.2	1.0	0.2	0.8	100.0

(図 5-4) 旅行形態別来県目的割合 (%) ※県内容を除く



全体の来県目的割合は、「キャンプ見学・スポーツ観戦のみ」が78.8%で大半を占め、次いで「観光」が18.1%となっており、他の項目は少数となっている。

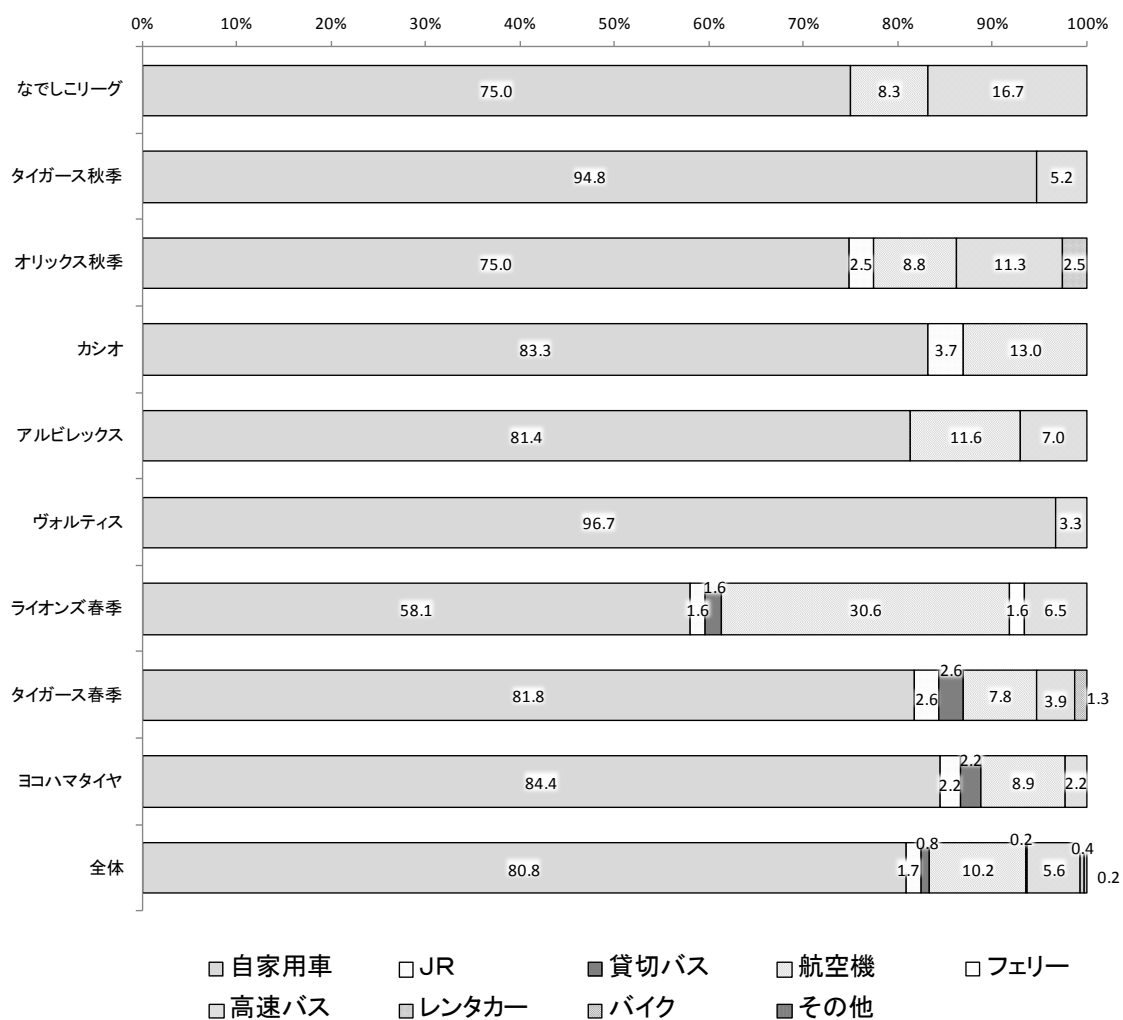
6. 入込利用交通機関

6-1 入込利用交通機関割合

(表 6-1)入込利用交通機関割合（上段：件 下段：％） ※県内客を除く

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他	合計
なでしこリーグ	9	0	0	1	0	2	0	0	0	12
	75.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース秋季	73	0	0	0	0	4	0	0	0	77
	94.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	100.0
オリックス秋季	60	2	0	7	0	9	2	0	0	80
	75.0	2.5	0.0	8.8	0.0	11.3	2.5	0.0	0.0	100.0
カンオ	45	2	0	7	0	0	0	0	0	54
	83.3	3.7	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	35	0	0	5	0	3	0	0	0	43
	81.4	0.0	0.0	11.6	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ヴォルティス	29	0	0	0	0	1	0	0	0	30
	96.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ春季	36	1	1	19	1	4	0	0	0	62
	58.1	1.6	1.6	30.6	1.6	6.5	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース春季	63	2	2	6	0	3	0	1	0	77
	81.8	2.6	2.6	7.8	0.0	3.9	0.0	1.3	0.0	100.0
ヨコハマタイヤ	38	1	1	4	0	1	0	0	0	45
	84.4	2.2	2.2	8.9	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	388	8	4	49	1	27	2	1	0	480
	80.8	1.7	0.8	10.2	0.2	5.6	0.4	0.2	0.0	100.0

(図 6-2) 入込利用交通機関割合 ※県内客を除く



全体の入込利用交通機関を見ると、「自家用車」の割合が80.8%で大半を占めており、次いで「航空機」が10.2%、「高速バス」が5.6%、「JR」が1.7%となっている。

7. 県内消費額

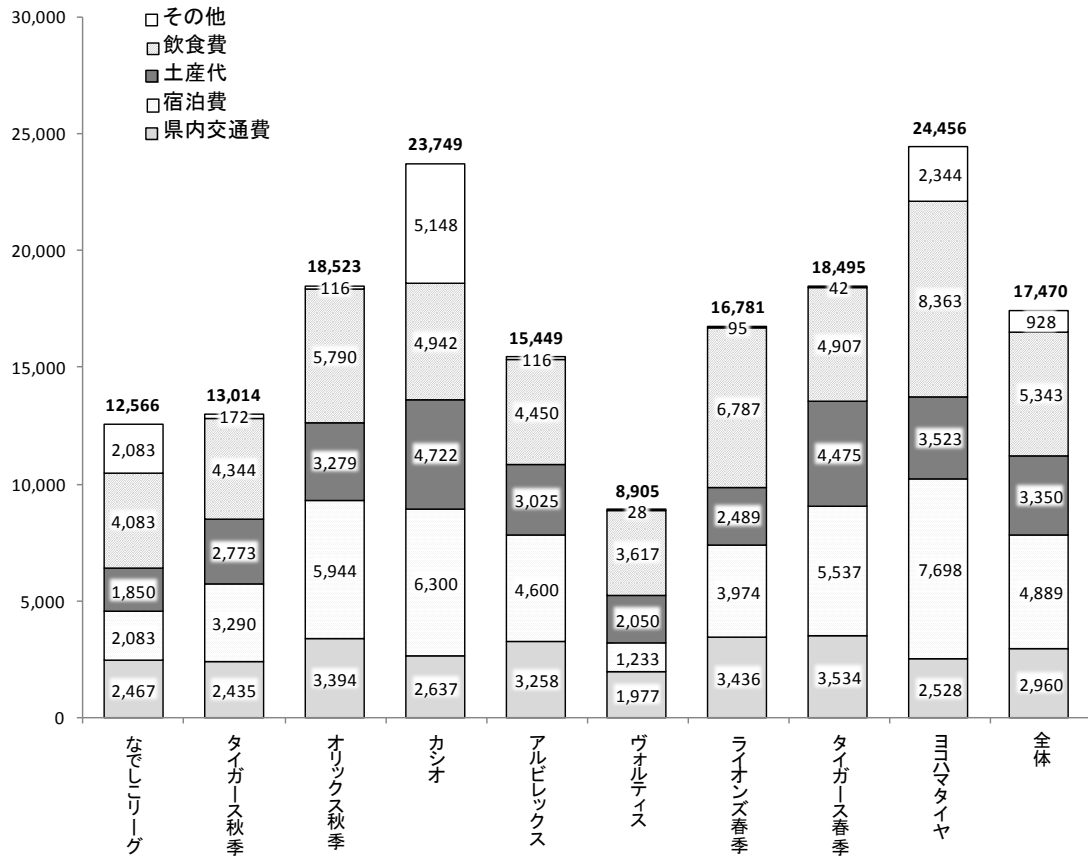
7-1 県内消費額

(表 7-1) 県内平均消費額・同割合 (上段：円 下段：%)

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
なでしこリーグ	2,467	2,083	1,850	4,083	2,083	12,566
	19.6	16.6	14.7	32.5	16.6	100.0
タイガース秋季	2,435	3,290	2,773	4,344	172	13,014
	18.7	25.3	21.3	33.4	1.3	100.0
オリックス秋季	3,394	5,944	3,279	5,790	116	18,523
	18.3	32.1	17.7	31.3	0.6	100.0
カシオ	2,637	6,300	4,722	4,942	5,148	23,749
	11.1	26.5	19.9	20.8	21.7	100.0
アルビレックス	3,258	4,600	3,025	4,450	116	15,449
	21.1	29.8	19.6	28.8	0.8	100.0
ヴォルティス	1,977	1,233	2,050	3,617	28	8,905
	22.2	13.8	23.0	40.6	0.3	100.0
ライオンズ春季	3,436	3,974	2,489	6,787	95	16,781
	20.5	23.7	14.8	40.4	0.6	100.0
タイガース春季	3,534	5,537	4,475	4,907	42	18,495
	19.1	29.9	24.2	26.5	0.2	100.0
ヨコハマタイヤ	2,528	7,698	3,523	8,363	2,344	24,456
	10.3	31.5	14.4	34.2	9.6	100.0
全体	2,960	4,889	3,350	5,343	928	17,470
	16.9	28.0	19.2	30.6	5.3	100.0

(図 7-2) 県内平均消費額 (円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く



全体の県内平均消費額は17,470円となり、費目別では県内交通費2,960円(16.9%)、宿泊費4,889円(28.0%)、土産代3,350円(19.2%)、飲食費5,343円(30.6%)、その他928円(5.3%)となっている。

調査項目別にみた県内平均消費額は、ヨコハマタイヤが24,456円で最も高くなっており、次いでカシオが23,749円、オリックス秋季が18,523円となっている。一方で、ヴォルテイスが8,905円で最も低くなっている。

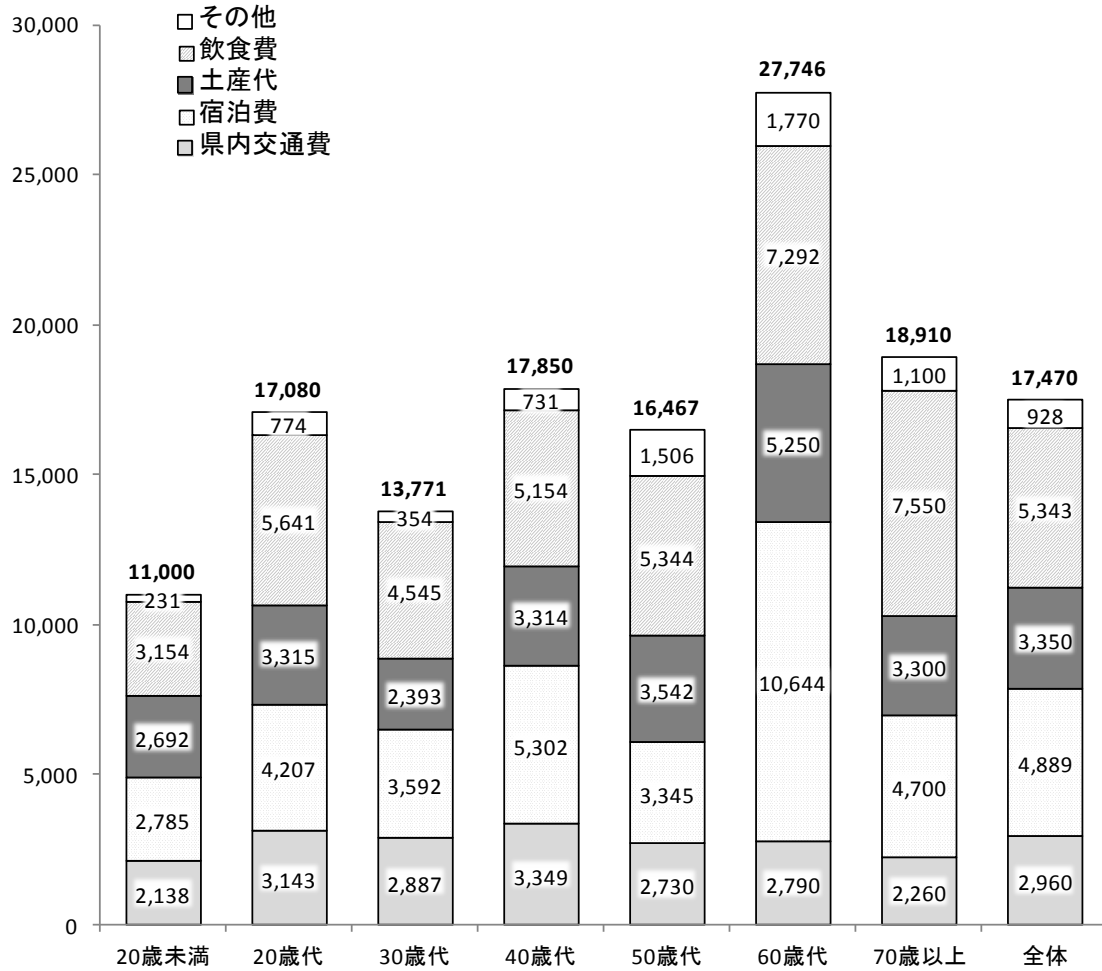
7-2 年代別県内消費額

(表 7-3)年代別県内平均消費額・同割合（上段：円 下段：％）

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
20歳未満	2,138	2,785	2,692	3,154	231	11,000
	19.4	25.3	24.5	28.7	2.1	100.0
20歳代	3,143	4,207	3,315	5,641	774	17,080
	18.4	24.6	19.4	33.0	4.5	100.0
30歳代	2,887	3,592	2,393	4,545	354	13,771
	21.0	26.1	17.4	33.0	2.6	100.0
40歳代	3,349	5,302	3,314	5,154	731	17,850
	18.8	29.7	18.6	28.9	4.1	100.0
50歳代	2,730	3,345	3,542	5,344	1,506	16,467
	16.6	20.3	21.5	32.5	9.1	100.0
60歳代	2,790	10,644	5,250	7,292	1,770	27,746
	10.1	38.4	18.9	26.3	6.4	100.0
70歳以上	2,260	4,700	3,300	7,550	1,100	18,910
	12.0	24.9	17.5	39.9	5.8	100.0
全体	2,960	4,889	3,350	5,343	928	17,470
	16.9	28.0	19.2	30.6	5.3	100.0

(図 7-4) 年代別県内平均消費額・同割合 (円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く



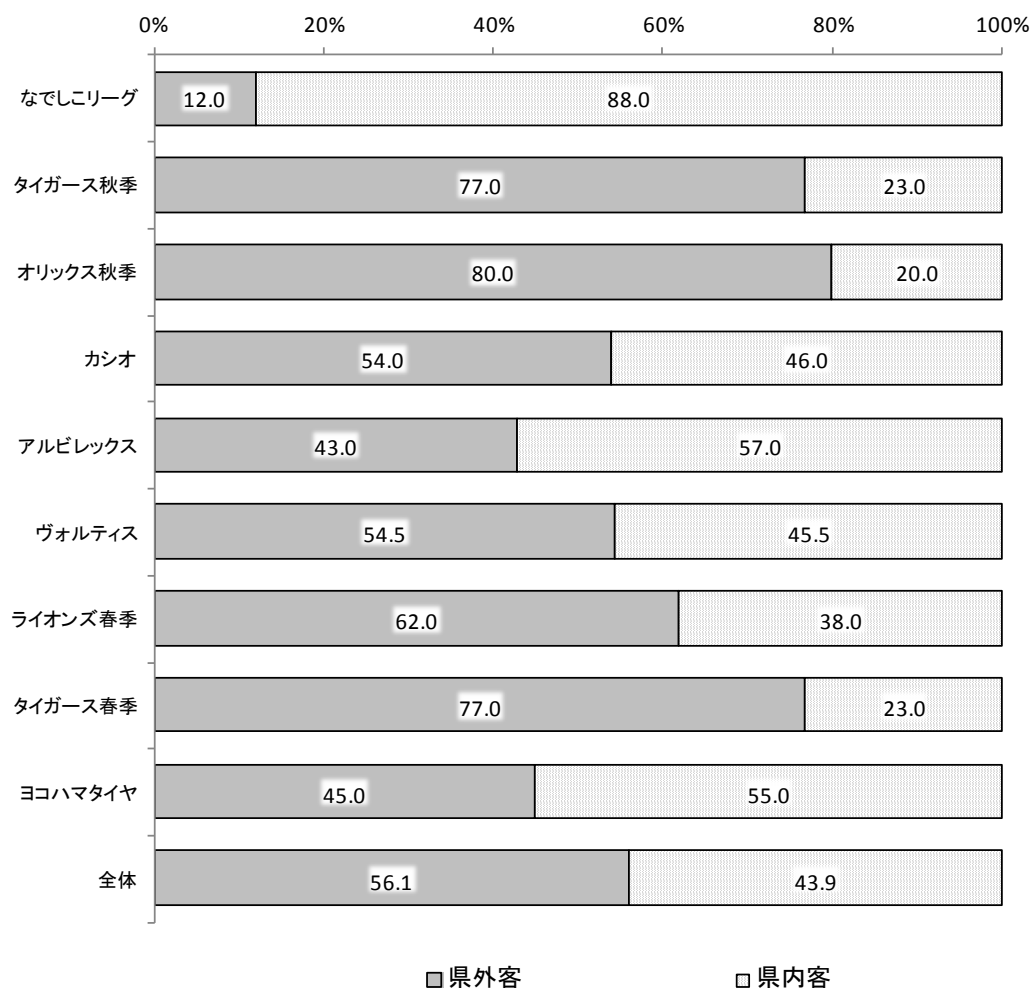
年代別にみた県内平均消費額は、60歳代が27,746円で最も高くなっており、次いで70歳以上が18,910円、40歳代が17,850円となっている。一方で、20歳未満が11,000円で最も低くなっている。

費目別に最も高くなった年代と平均額をみると、県内交通費は40歳代が3,349円、宿泊費は60歳代が10,644円、土産代は60歳代が5,250円、飲食費は70歳以上が7,550円、その他は60歳代が1,770円となっている。

8. 県内客・県外客

8-1 県内客・県外客割合

(図 8-1) 県内客・県外客割合 (%)



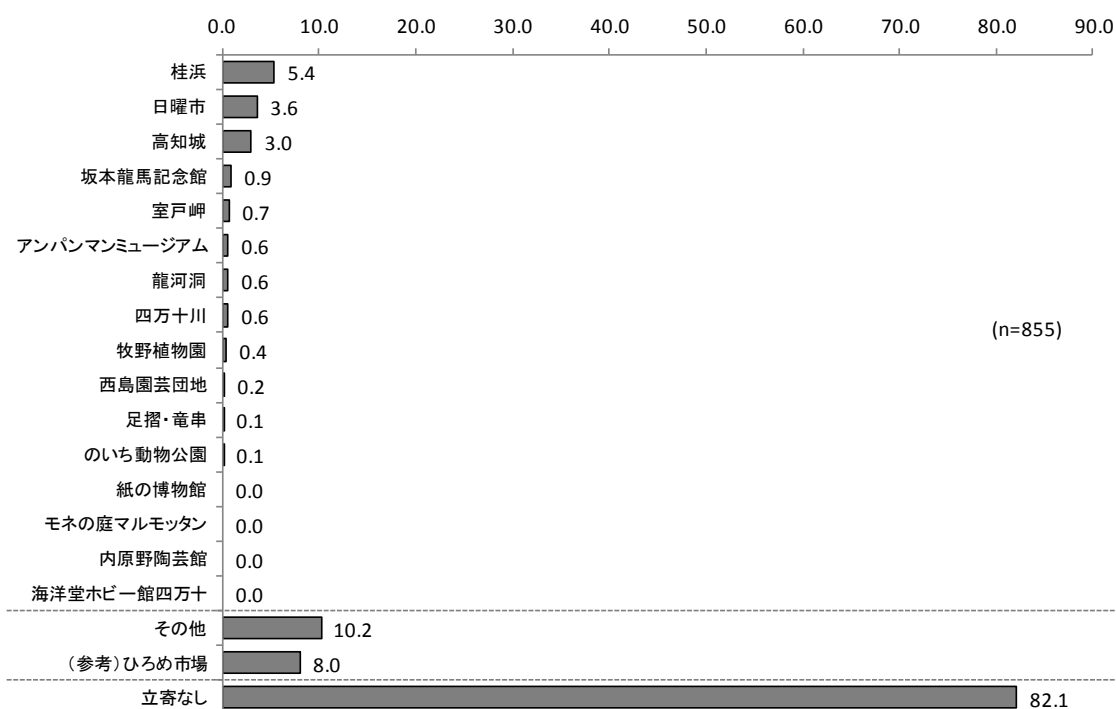
全体の県内客・県外客を見ると、県外客の割合が 56.1%、県内客が 43.9%と、県外客が多くなっている。

県外客が多くなった調査項目を見ると、オリックス秋季が 80.0%で最も高くなっており、次いでタイガース秋季とタイガース春季が共に 77.0%となっている。一方で、なでしこリーグが 12.0%で最も低くなっている。

9. 立寄観光スポット

9-1 立寄観光スポット割合

(図 9-1) 立寄観光スポット割合 (%)



注) 複数回答あり。

立寄観光スポットは、スポーツ観戦のみの「立寄なし」の割合が 82.1%と大半を占めている。立ち寄った（立ち寄る予定）と回答された観光スポットでは、その他のスポットとしてあげられた、ひろめ市場が 8.0%で最も高くなっており、次いで桂浜が 5.4%、日曜市が 3.6%、高知城が 3.0%、坂本龍馬記念館が 0.9%となっている。

その他の観光スポットとしてあげられた回答としては、先述のひろめ市場の他に、“道の駅”が 3件、その他“温泉”、“高知市内”などがあった。